

かずさの博物誌

ミサゴ

～勇壮な漁をするタカ～

文・写真／成田篤彦

2014.7.20

さて、三年前の秋、河口の岸辺で海の景色を楽しんでいると徐々に潮が満ちてきた。すると沖合から大きなカモメに似た、白っぽい鳥がゆつくりと頭上を上流へ飛んでいった。ミサゴだ。河口の松林を越え、ヨシが繁茂する中洲近くの川面を黄色の眼でなめるように見つめながら、ゆつたりと往復していた。

梅雨があけると猛暑が続く。過ぎやすい秋が早く、来ないかと思う。秋がくれば上総の海岸や河口にはミサゴが北国からやってくる。ミサゴは魚を捕るタカだ。彼らが秋空の下で上総の河口で漁をする姿は勇壮でダイナミックだ。大きなえものを捕えて、ゆつたりと飛行する姿は見応えがある。知られていない上総の風物詩の一つだと思う。



©成田篤彦

▲魚を捕えて飛び上がろうとするミサゴ
=2010年11月3日 上総地方

その後、彼らは沖合にまっすぐに戻っていった。きつとカラスやトビやダイサギやアオサギからせっかく捕った魚を奪われないように安全な沖の杭に止まって、えものを食べるのだろう。

ミサゴは上総で秋～春に見られる。かつて繁殖した例があると聞いたが、今は聞かない。



©成田篤彦

▲魚をもって飛行するミサゴ
=2011年10月4日 上総地方

彼らは海岸の岩棚やアカマツ等の樹上に小枝を大量に積み上げて営巣する。巢の近くに釣り人たちが来ると巣を放棄するそう。上総には人が近づかない安全な巣作りの場所が無いから繁殖はしないのかもしれない。彼らは世界的にも数の減少が心配されている種の一つだ。

上総の海岸には季節が



©成田篤彦

▲河面に急降下するミサゴ=2010年11月3日 上総地方



©成田篤彦

▲海の杭で魚を食べるミサゴ=2009年12月15日 上総地方

memo

ミサゴ

タカ目ミサゴ科

千葉県指定重要保護生物。トビより一回り小さい。極地や砂漠を除く北半球全域。オーストラリアの沿岸部で繁殖する。国内では北海道・本州・四国・九州などで繁殖する。北日本で繁殖するものは南に渡り越冬する。県内での繁殖は未確認である。東京湾では旅鳥または冬鳥である。魚を脚で捕える。

参考文献

千葉県の保護上重要な野生生物
二〇一一年 千葉県。